委員会報告

文教厚生常任委員会

9月4日大柿分庁舎において(1)江田島中学校新築工事について教育長・教育次長及び担当課長(2)包括支援センターの事業について福祉保健部長・担当課長等の出席を求め委員会を開催しました。その概要を報告します。

(1) 江田島中学校新築工事について

Q 小用小学校の体育館を使用するのは中学生のサイズに合わないし狭い。また統合する切串中の体育館よりも狭い。

A 切串中学校と統合後の生徒数は、約200名ですが400名まで収容が可能です。授業の観点からは支障を来たすことなく充分活用出来ます。

Q 中学生が小学校用の体育館を使用するのは、無理があるのでは。今後、中学校の施設らしく活かすことをお願いしたい。

A 財政が厳しいが出来る限りのことを施したい。

▲ 旧小用小学校体育館

(2) 包括支援センターの事業について

Q 包括的支援事業費委託料675万円の明細は。

A 5事業所に相談業務を委託しています。1事業所当たりの委託料は約135万円です。

Q いきいきふれあいサロン事業は。

A 市内に60か所ありますが、増加傾向です。1サロン当たり年間3万円です。

Q 社会福祉協議会の事業は補助金も多額だが管理、監督は。

A 主に社会福祉課が指導しています。

▲ 大柿分庁舎で開催した文教厚生常任委員会

総務常任委員会

7月18日委員会を開催し、新法による財政健全化法等について総務部長・総務課長・財政課長の出席を求め委員会を行いました。その概要を報告します。

(1) 健全化法の自治体財政の判断基準の4つの指標「実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率」について説明を受けた。

Q 4つの指標のうち1つでも基準を超えた場合はどうなるのか。

A 4つの指標のうち1つでも基準を超えると財政再生計画を策定することになります。なお、健全化法は21年度から施行しますが、まだ国・県から正式なものがきていません。

Q 財政の早期健全化（イエローカード）、財政の再生（レッドカード）であろうと再建団体になるということか。

A 基準がどの程度になるかによります。基準数値が低く設定されると本市も再建団体になる可能性があります。

(2) 本市の財政状況。（歳入及び基金）

(3) 本年度の主要事業の財源確保の状況。

(4) 平成20年度予算編成にあたりその課題について。

厳しい地方財政の状況・平成19年度当初予算の概要及び市町村財政比較分析表・平成17年度普通会計決算資料を基に、市債の残高279億8、399万円の推移、財源不足（実質収支比率）、地方交付税の削減で本市の普通交付税が平成12年度の68億8千万円から平成18年度は56億5千万と12億3千万の減となり旧町1町分が減額となった。また、基金現在高39億2、625万円の推移・自主財源・義務的経費及び投資的経費など説明を受けた。

Q 18年度30人が退職したが、財政に与える効果及び成果は。

A 5年ぐらいしないと効果は現れません。

企業会計特別委員会

8月22日委員会を開催し、企業局長・同次長・担当課長の出席を求め、(1)平成18年度江田島市交通船事業報告 (2)平成18年度江田島市国民宿舎事業報告 (3)平成18年度江田島市水道事業報告 (4)平成19年度発注予定工事について説明を受けた後、質疑を行った。その概要を報告します。

交通船事業について

Q 17年度に比べて18年度の輸送量が減少しているが理由は何か?

A 公共工事等の減少による車両の輸送量の減が大きい。旧町単位であれば四町が同一メニューの公共工事をしていましたが、公共工事の減により広島市からの資材搬入車両が減ったためです。

Q 収入が減って費用が増えているが。

A 主な原因は燃料の高騰によるものです。

Q 高速船も手荷物を桟橋から桟橋の間で、預かることをしないか。自治体職員も小さなことから企業的な考えを持つ必要がある。

A 梱包をきちんとしていればそのまま預かるなど検討します。

国民宿舎事業について

Q 一日平均入湯者が、17年度374人から18年度395人と21人プラスとなっているがその要因は。

A 風呂に入る日帰りのお客が増加しました。

Q 職員教育の徹底とPRを。

A 全国版の無料冊子等に掲載しPRしています。

水道事業について

Q 事業収入のうち水道料金収益が前年度比4千万円減となっているが。

A 主なものは、崩落事故及び簡保の宿閉鎖による減収です。

Q 供給単価が17年度264円23銭で、18年度266円75銭であり差額の2円52銭は何か。

A 供給単価は、給水収益÷年間有収水量（給水量）により算定しており毎年変わります。ただし、水道料金は同じです。

Q 三高ダムは、基本的には農業用水ですが水質はどうか。

A ダムのかさ上げにより水量は増えましたが、ダムの底の水は酸素不足になり水質が悪くなりました。特に、昨年の夏は水質が悪く十分な能力が発揮できませんでした。しかし水質は昨年より良くなっています。

1日の処理能力は2千トンです。

▲ 三高水源池

議会の動き（平成19年7月～9月）

月	日	会議名	主な審議内容
7月	2日・5日	議会広報特別委員会	議会だより第11号編集
	18日	総務常任委員会	財政健全化法
	19日	議会広報特別委員会	議会だより第11号編集
	23日	庁舎建設検討等特別委員会	今後の進め方
		議会運営委員会	第3回市議会臨時会（議案、議事日程）
	24日	岡山県瀬戸内市議会広報編集特別委員会	議会広報のつくり方、編集全般について視察研修のため来市
	25日～27日	文教厚生常任委員会	厚生労働省、文部科学省、教育施設視察研修
	30～1日	総務常任委員会・産業建設常任委員会	国東市、臼杵市、大分農業文化公園視察研修
8月	3日	第3回市議会臨時会	議案1件
	22日	議会運営委員会	第4回市議会臨時会（議案、議事日程）
		企業会計特別委員会	平成18年度事業報告
	30日	第4回市議会臨時会	専決処分1件、議案1件
9月	4日	文教厚生常任委員会	江田島中学校新築工事（建築）、包括支援センターの事業
	13日	議会運営委員会	第5回市議会定例会（議案、議事日程、一般質問）
	18日	第9回議会全員協議会	議会運営
		議会広報特別委員会	議会だより第12号編集
	25日	第5回市議会定例会初日	一般質問9人
	26日	第5回市議会定例会2日目	一般質問3人、同意4件、諮問2件、議案4件、補正予算6件
	27日	第5回市議会定例会3日目	平成18年度14会計決算の委員会付託、発議4件、常任委員の選任、議会運営委員の選任